

学校再編準備委員会(第1回 学校運営部会) 結果概要

■ 開催日時 令和6年5月14日(火) 午後1時30分から午後3時20分まで

■ 開催場所 合川小学校 校長室

■ 出席者 【委員】3人

合川小学校長

天名小学校長

郡山小学校長

【教育委員会事務局】2人

教育政策課 政策推進グループ(1人)

教育指導課 研究グループ(1人)

■ 傍聴者 0人

■ 事項

1 開会(出席者及び資料確認)

2 協議事項(事項ごとに、資料に基づき事務局から説明後、意見交流。)

(1) 「新たな小学校」における学校経営方針の検討に向けて

《 主な意見 》

- ・ 現在の天栄中学校区の小中連携に基づく方針も踏まえる。
- ・ 各校の現状と課題をもとに、本年度の3校の学校経営方針をたたき台として、子ども像などを共有しながら、新たな小学校の経営方針を検討する。
- ・ 第2回の部会で案を作成し、学校での意見も加味しながら、第3回の部会で一定の方針を決める。
- ・ 教科担任制及びチーム担任制について、利点と懸念について議論。
- ・ 教科担任制については、鈴鹿市も推進している。「新たな小学校」では、1学年が2学級以上になるので、導入することになる。まずは、教科担任制のメリットを最大限に生かして、複数の教員で児童を見守ることや、教科指導の質の向上等に取り組んでいきたい。
- ・ 協働的な学び、子どもがそれぞれのペースで学習形態を選択するなどの複線型の授業について、子どもの学びや授業イメージについて議論。

- ・ 一番大事にしたいのは、全員の学びを保障できるということ。複線型が有効な場面と一斉指導が有効な場面がある。
- ・ 総合的な学習の時間などで、子どもが自ら課題をみつけ、資料を集め、自分で表現するなどの活動において、複線型が有効であるという議論になれば、分かりやすくイメージできるのではないか。
- ・ 複線型のメリットを生かしたいと考えるが、実施のイメージがまだわきにくい。授業スタイルについては、継続して検討したい。

(2) 特色ある取組

《 主な意見 》

① 英語教育について

- ・ 本年度から、国際化教育指導員を1日ずつ、天名小と郡山小へ派遣していることの現状交流。子どもたちは、休み時間も親しみをもって指導員に接している。
- ・ 合川小で培われてきたものを大切にしながら、1・2年生から日常的に英語に触れることができる環境づくりを大事にしたい。
- ・ 国際化教育指導員の常駐時間が増えるとよい。
- ・ 英語教育を「新たな小学校」での特色ある取組とするためには、中心となって推進する人材配置と今後継続していくための人材育成が必要である。
- ・ 1・2年生からの英語教育の継続と強化のためには、独自時間を設置し、英語に触れる機会を増やすなど、日課表の検討も必要である。
- ・ 地域との連携による英語学習の機会の創出も検討する。
- ・ 第2回の部会には、各校の英語担当も集まって議論をした方がよい。

② 地域学習について

- ・ 「新たな小学校」の位置的に中心となる現在の郡山小学校の地域学習をベースに、これまで合川小学校や天名小学校で積み上げてきた地域学習の特色を盛り込む感じで、6年間の基礎カリキュラム案を作成してはどうか。
- ・ 3校が集まることで、地域学習がダイナミックに広がる可能性がある。
- ・ 校区が広くなるため、校外学習については、移動手段や安全面等について検討する必要がある。
- ・ 地域の方々が、現在、子どもたちと接することにやりがいをもってくださっているお気持ちは、今後も大切にしていきたい。
- ・ 地域性が強い行事については、学校に取り入れていくだけでなく、地区の取組としてまちづくりに生かされていくことにも期待したい。
- ・ 「こんな方法なら、引続き協力したい」といった、地域からの御意見もお聞きしたい。
- ・ 郡山小学校の地域の方が集まる「作志(つくし)の部屋」が、コロナ禍が開けて再開した。「新たな小学校」でも、今の3校の地域の方が集まってくださるような場にした

(3) 今後、検討すべき内容・時期・体制

《 主な意見 》

- ・ 「新たな小学校」に向けた、現1～4年生の交流学習の計画が進んでいる。オンライン交流も含め、3校合同で社会見学に行くなど、学年によって工夫し取組を進めている。
- ・ 学校評価及び学習評価については、本年度の後半の議題とする。
- ・ 校務分掌については、郡山小学校が規模的に「新たな小学校」に一番近いので、郡山小学校の現在の分掌をベースとして、合川小学校や天名小学校の特徴的な分掌について検討していくこととする。

(4) 子ども・保護者・地域アンケートの実施について

《 主な意見 》

- ・ 部会の議事録を教育委員会のウェブサイトに掲載するなら、同時に問い合わせフォームから意見を収集するなど、意見収集の機会を設けることは必要である。
- ・ アンケート方法としては、児童なら1人1台端末の活用、保護者や地域の方なら二次元コードからのウェブアンケートが考えられる。自治体ルートの活用や、ウェブサイトが活用しにくい方向けに紙媒体を用意する必要もある。
- ・ 学校運営協議会の議題にしていく方法もある。
- ・ アンケートの実施の有無や発信方法については、他の部会との兼ね合いもある。意見収集対象の方に負担が重ならないよう、時期・方法・内容等について、事務局で調整してほしい。

3 次回の会議について

- ・ 第2回学校運営部会は、8月1日(木)～8月7日(水)の間に開催する。

4 閉会

以上